



# ふくやま 草戸千軒ミュージアム

# ニュース

～第139号～

広島県立歴史博物館



くさどくん せんちゃん

HIROSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

広島県立歴史博物館開館 35 周年記念・「菅茶山関係資料」重要文化財指定 10 周年記念

かんちゃざん 令和6年度春の展示

## 菅茶山のタカラモノ

らいしゆんすい さんよう  
—重要文化財が語る頼春水・山陽との交流—

令和6年

4月19日(金) ▶ 6月16日(日)



頼春水像(広島頼家関係資料、頼山陽史跡資料館蔵)



菅茶山肖像画(菅茶山関係資料、当館蔵)

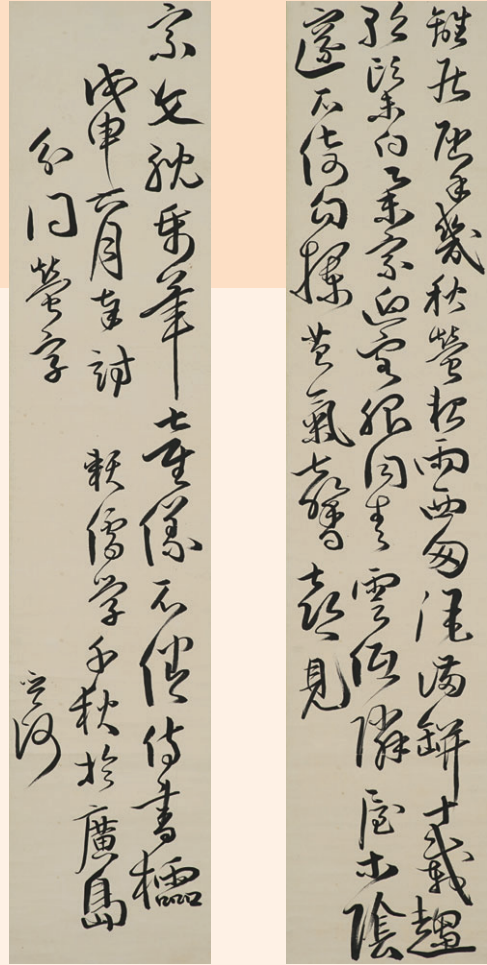
備後国神辺出身の菅茶山(1748～1827)は、江戸時代後期を代表する漢詩人で、儒学者・教育者としても活躍した人物です。また、令和6年は、茶山とその子孫が大切に守り伝えてきた「菅茶山関係資料」が重要文化財に指定されてから10周年に当たります。

今回の展示では、広島藩を代表する儒学者で茶山と親交の深かった頼春水(1746～1816)とその子・山陽(1780～1832)を中心に、茶山と頼家の人々の交流を「菅茶山関係資料」の中の様々な「タカラモノ」と「広島頼家関係資料(杉ノ木資料)」などの頼家に伝わる資料によって紹介します。

展示の紹介は次のページへ ▶▶

# 菅茶山と頼家の交流

離居屈手幾秋螢  
夜雨西窓酒滿餅  
十載趨朝頭未白  
挙家迎客眼同青  
雲低隣屋木陰邃  
石倚勾欄苔氣馨  
喜見家父耽紙筆  
童儀不倦侍書櫺



七言律詩  
「戊申六月奉訪頼儒学千秋於広島分得螢字」  
菅茶山書、天明8年(広島頼家関係資料、頼山陽史跡資料館蔵)

離れ離れにいた期間を指折り数えてみれば、いったい幾たび秋の螢が飛ぶ夜を過ごしたことだろうか。外は夜の雨が降り、西側の窓辺には酒が瓶に満たさ  
れている。  
家の主人である頼春水は広島藩に仕えて十年になるが、頭にはまだ白いものは見え、家族をあげて客を迎え、皆が親しみにみちた眼で接してくれる。  
雲は隣屋の屋根に低くたれこめて、木陰は深く、庭の石が手すりにもたれかかって、苔の香りがする。  
父親(春水)が書き物に没頭し、その書齋の窓格子の側で子供(山陽)が飽きもせず勉強しているのを喜んで見ている。

天明8年(1788)6月、菅茶山は宮島への旅の途中に頼春水の家を訪ね、弟の杏坪や子の山陽の出迎えを受けました。この時、茶山(41歳)と山陽(9歳)は初対面でしたが、茶山は、行儀正しく勉学に励む山陽の姿に感心し、それを詩に詠みました。

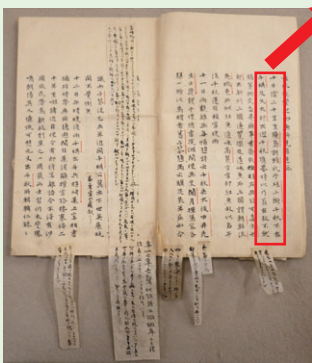
上の写真は、その詩を茶山が揮毫したもので、頼家に伝来した作品です。

左の写真は、この時の茶山の旅の日記の草稿で、6月10日の記事には、不在の春水(千秋)に代わり、杏坪(千祺)と山陽(久太郎)が茶山を出迎えたことが記されています。

「菅茶山関係資料」として伝来した数々の資料は、茶山にとって大切な“タカラモノ”でしたが、こうした友人たちとの心温まる交流も、茶山にとって大切な“タカラモノ”であったに違いありません。

至広島、訪頼氏于磋工街、千秋不在、  
千祺及久太郎出迎  
(広島に到り、西研屋町に頼氏を訪ねた。春水は不在で、杏坪と山陽が出迎えてくれた。)

十日陰二十里至廣島訪頼氏于磋工街千秋不在  
千祺及久太郎出迎千秋應墨時以乃翁在故不就



「芸遊日記」  
(菅茶山関係資料、当館蔵)

## 「菅茶山関係資料」の保存修理



(修理前)

「菅茶山肖像画」(菅茶山関係資料、当館蔵)



(修理後)

平成26年(2014)に「菅茶山関係資料」が重要文化財に指定されて以降、当館では、文化庁の国庫補助事業として、「菅茶山関係資料」の中の傷みの激しい資料を中心に、順次保存修理を実施しています。

今回の展示では、“タカラモノ”である「菅茶山関係資料」を受け継ぐ当館が、それらを後世に伝えるために実施する取組についても紹介します。

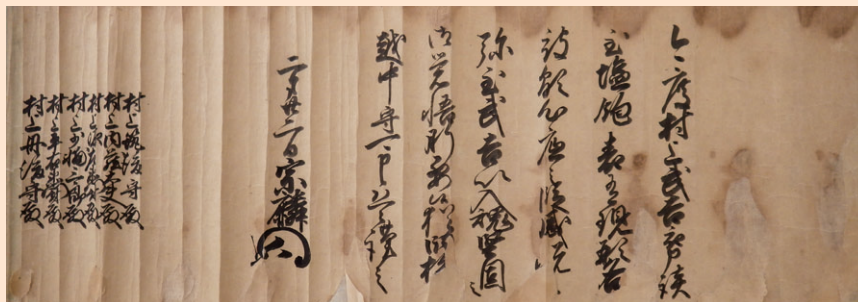


修理風景 (折れ伏せ入れ)

幻の書状を発見!!

特別公開

おおとも そうりん  
「大友宗麟書状」



「大友宗麟書状」(村上家文書、三原市教育委員会蔵)

これは、大友宗麟が中世の瀬戸内海で海賊(水軍)として活動した能島村上氏に宛てた元龜2年(1571)の書状で、能島村上氏が毛利氏側から大友氏側に付いたことが分かる貴重なものです。

近年、再発見され、大きな話題となりました。

今回の展示では、この貴重な「大友宗麟書状」を、「能島兵法(能島家伝)」の写本(能島村上氏の兵法書、菅茶山関係資料)などの関連資料とともに特別公開します。

## 「広島頼家関係資料」

重要文化財への指定が答申されました!

令和6年3月15日(金)、国の文化審議会は、文部科学大臣に対し、頼山陽史跡資料館(当館分館)が所蔵する「広島頼家関係資料」の一部を重要文化財(歴史資料)に指定するよう答申しました。今回の展示では、その一端を紹介します。

# 博物館 掲 示 板

## 令和6年度 春の展示関連行事

- 開館時間 / 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
  - 休館日 / 月曜日(ただし4月29日及び5月6日は開館)、5月7日(火)
  - 入館料 / 一般290円(220円)、大学生210円(160円)、高校生以下及び65歳以上無料  
※( )内は団体20名以上の料金
  - 関連行事 / 開催記念講演会 ※時間は午後2時～午後3時30分、会場は当館講堂、聴講無料
- 第1回** 4月27日(土) **「広島頼家関係資料」にみる菅茶山**  
講師:花本 哲志(頼山陽史跡資料館主任学芸員)
- 第2回** 5月25日(土) **「菅茶山関係資料」にみる広島頼家**  
講師:渡部 史之(当館主任学芸員)

## 令和6年度 特別展・企画展・部門展の御案内

夏の企画展

広島県立歴史博物館開館 35 周年記念  
 「広島県草戸千軒町遺跡出土品」重要文化財指定 20 周年記念  
 「菅茶山関係資料」重要文化財指定 10 周年記念



# 名宝が織りなす歴史物語

—広島県の国宝・重要文化財IV—

令和6年

7月12日(金)～9月1日(日)

秋の特別展

広島県立歴史博物館開館 35 周年記念

# 源氏物語の世界展

令和6年

9月27日(金)～12月1日(日)

早春の展示

広島県立歴史博物館開館 35 周年記念

# 絵葉書にみるふるさとの近代

令和7年

1月24日(金)～3月23日(日)

ふくやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館)ニュース 第139号

編集・発行

令和6年3月16日



**ふくやま 草戸千軒ミュージアム**  
 (広島県立歴史博物館)  
 HIROSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

〒720-0067 広島県福山市西町二丁目4-1  
 TEL 084-931-2513 FAX 084-931-2514  
 e-mailアドレス rhksoumu@pref.hiroshima.lg.jp  
 ホームページ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekishih/>  
 X(エックス) [https://twitter.com/hiroshima\\_prhk](https://twitter.com/hiroshima_prhk)



▲ ホームページ



▲ X (Twitter)